

平成 31年
4月7日執行

栃木県議会議員選挙選挙公報

小山市・野木町選挙区

栃木県選挙管理委員会

安倍政権 いなりNO! 県政変え、くらし守ろう

消費税10%中止 国保税引き下げの 一票は



石川まさおへ

日本共産党

石川まさおへの一票で 地方から安倍政治に審判を

- 沖縄新基地** 県民投票で71.7%が「辺野古新基地に反対。安倍政権は民意にしたがい中止の決断を」
- 原発** 原発ゼロの日本へ。再生可能エネルギーの普及を。東海第2原発の再稼働は中止を。
- 憲法** 9条改憲、海外で戦争できる国づくりにストップ。憲法9条をいかにした平和な日本に。
- 消費税** 10%増税はキツバリ中止に。アベノミクスで大儲けした大企業と富裕層に充分の負担を。

全国9位の財政力を もつとくらし応援に

- 高すぎる国保税の値上げ許さず、公費1兆円投入で大幅引き下げを
- 県の制度を拡充し、18歳まで医療費は窓口無料に
- 市町を支援し学校給食無料化を
- 介護保険の負担軽減とサービスの拡充を
- 県版住宅リフォーム制度の創設を
- 種別法廃止のもと県が責任持つ条例の制定を

これまで、期20年、小山市議として市民の福祉を守りつづけるため力を尽くしてきました。2015年の関東・東北豪雨でこの地域も甚大な被害を受けました。私は、住民のみならず、力をあわせ、市独自の補助制度実現に道を開くことができました。

いま安倍政権は、9条改憲、消費税10%増税、原発再稼働などを強行しようとしています。私は安倍政権の悪政の押し付けを許さず、くらし最優先の県政実現に力を尽くし、住民の声をまっすぐ県政に届けます。みなさんの一票を石川まさおに託してください。



日本共産党 石川まさお

いしかわ

1945年4月15日生(73歳)

【略歴】 ●1945年小山市生まれ。小山市議会議員5期、石川モーターサービス経営、小山市羽川在住。

小山市・野木町から住民の願い託せる日本共産党の一議席を

I♥とちぎ

中屋

なかやだい

40歳

- ◇生まれ 昭和54年1月5日 小山市生まれ
- ◇住まい 小山市雨ヶ谷新田在住
- ◇学び舎 大谷東小・大谷中 栃木県立小山市南高校卒
- ◇議員歴 小山市議会議員 当選2回 栃木県議会議員 現在1期目
- ◇所属委員会 経済企業委員会 委員 議会運営委員会 委員
- ◇地域活動 小山市立大谷東小学校 PTA 会長 一社 小山青年会議所 元理事長 小山商工会議所青年部 小山市消防第6分団
- ◇家族構成 妻・長女・次女・長男の5人暮らし

未来を変える 力になります!

3人の子どもを育てる
子育て世代の代表です。

私たちが応援しています!

連合栃木 会長 加藤 剛
立憲民主党衆議院 栃木県第4区 総支部長 藤岡隆雄
小山市議会議員 石島政己 塚原俊夫
青木美智子 山野井孝



無所属

中屋 だい

昭和54年1月5日・40歳

人が輝き 発展する 小山・野木創生へ!

- ### 西村しんじの主な実績
- 思川の堤防強化や川底掘削による豪雨災害対策の強化
 - 渡良瀬遊水地第2調整池の治水強化の推進
 - 災害時の避難経路確保及び地域経済の活性化や医療機関へのアクセスを向上する「小山・野木線」の整備推進(2025年全線開通)
 - とちぎ救急医療電話相談「#7111」の開設
 - 全県立高校の普通教室へのエアコン設置(今夏完了予定)
 - 労働生産性向上のため「栃木県IoT推進ラボ」を設置推進
 - 総合的就労支援を行う「とちぎジョブモール」の開設
 - 巡回式就職相談や適性職業診断事業の推進
 - 技能五輪・アピリンピック全国大会を栃木県に初招致

- ### 魅力あふれるまちづくり! 西村ビジョン
- 渡良瀬遊水地に栃木・群馬・埼玉・茨城の4県を巡る「サイクリングロード」を整備
 - 小山市に産業・文化振興のためにコンベンションホール(大型集会施設)の建設推進
 - 首都圏へのアクセス向上のため、圏央道五霞IC(茨城県)までの新4号国道の高規格道路化を推進
 - 東京オリンピック・パラリンピックへの食材提供を通して「おやまブランド」「野木ブランド」を世界に発信
 - 指定避難所や公共施設へのフリーWi-Fiエリアの拡大
 - とちぎ救急医療電話相談「#7111」の24時間化の推進
 - 子どもの遊び場施設の新設・拡充

【ごあいさつ】

誰もが希望をもって活躍し、魅力あふれる小山市・野木町を築くためには、「誰一人取り残さない」との理念を県政の根本に据え、きめ細やかな政策を実現していく必要があります。これまで培ってきた「豊富な経験」と「確かな目」で、「人が輝き発展する小山市・野木町」の創生へ全力を尽くしてまいります。

【プロフィール】

- 宇都宮大学大学院 博士課程修了
- 博士(工学) 一級建築士 防災士
- 元関東職業能力開発大学校 教授
- 県議2期

http://www.komei.or.jp/km/s-nishimura/▲



公明党

西村しんじ

昭和37年1月生(57歳)

平成 31年
4月7日執行

栃木県議会議員選挙選挙公報

小山市・野木町選挙区

栃木県選挙管理委員会

つなぐ **あなた** と県政 つなぐ **過去** と **現在** と **未来**



自由民主党

いたばし 一好

昭和十五年十月十六日生（七十八歳）

さらなる夢の総仕上げを 目指してがんばります!!

有言実行

県南に人口50万人の中核都市を!!

これからますます厳しくなる地域間競争を勝ち抜く為には自治体の形成が必要で。

新4号線は、周辺地域へのアクセスをスムーズにし、私たちの暮らしや産業を支えます。

関係する皆さんと共に、新4号線の更なる準高速道路化を目指し県内の平面交差点を立体交差化し、都心及び周辺地域へのアクセスをスムーズにします。

エコ・ミュージアム（渡良瀬遊水地）

自然観察の場として小山市・野木町が進める観光水路・観察歩道・船着場等をつくりポートや水辺を利用して親子で楽しめる施設実現のために協力しております。

新交通システム「LRT」の早期実現

「高岳専用引込線」を活用した次世代型路面電車（LRT）導入の仕上げに小山市・関係者と共に全力をつくします。

乙女大橋と友沼橋の架け替えを!!

歩道を設置して、車道も拡幅して安心安全な道路の整備をします。

五十余年の経験と実績を生かし、人と企業を呼び込み、教育・福祉の充実をはかるため働かせて下さい。

板橋一好 プロフィール

- ◎生年月日 昭和15年10月16日生 78歳
- ◎現住所 小山市大字小宅1624
- ◎学歴 県立宇都宮工業高校土木科・日本大学短期大学部工科学士専攻卒
- ◎経歴 栃木県議会議員 12期目（現）
昭和46年4月～
小山市議会議員1期
栃木県議会副議長
栃木県議会議長
県出資法人あり方検討会 会長
企業局事業等あり方検討会 会長
行政機構調査特別委員会 委員長
県功労者表彰
全国都道府県議会議長会永年勤続功労者表彰
小山青年会議所 初代理事長
- ◎役職 自由民主党栃木県連 副会長
栃木県議会 会長
NPO法人「明るい社会づくり」東地区会長



自由民主党

白石としたか

昭和五十年十月十一日生・四十三歳

ごあいさつ

ご支援下さる多くの皆様に深く感謝申し上げます。政治家の役目は希望を持てる社会を作ること。人口減少、財政難、先行き不透明な社会にしたのは改革を避けてきた結果ではないでしょうか。

波風立てない現状維持は非常に楽です。しかし、ツケは将来に回されます。将来を決めるのは、今を生きる我々政治家、そして政治家を選ぶ有権者の皆様です。

政治は皆のものであり、権力者の道具ではありません。人には運不運があります。辛い立場にある人に光を向ける政治にしたい。ねたまず出る杭を伸ばしたい。

自由と権利ありき偏らず義務と責任も重視した制度に変え、努力した人が報われる社会に変えたい。税金を浪費する制度は改めたい。国の指示待ちではなく、自らの郷土は自ら守る、地方の自主性と活力を阻害する国の画一的な制度を改めるよう、地方から国を変える気概を持った栃木を作りた。

無所属では正論でも意見が反映されない中、結果を出すために自民党に入りました。野党に力がない以上政権政党として自民党の責任は非常に重いです。改革は反発を生み非常にエネルギーが必要です。

若手政治家として将来のために改革を先行できるよう、どうか皆様のご支援を心よりお願い申し上げます。

略歴

- 早稲田大学社会科学部卒業
- 代議士書生兼秘書
- 貿易商社起業（国際交流に従事）
- 曹洞宗大本山永平寺で1年間修行（僧籍有り）
- 小山市議選でトップ当選
- 栃木県議会議員2期（現在3期目の挑戦）
- 剣道場「練兵館」副館長 剣道錬士七段

49歳 国際派、議長の経験を「平成」の次へ



自由民主党

いがらし 清

昭和44年12月14日生（49歳）

いがらし清は、「実現します。」「前進させます。」

一今後4年間の「活動方針」一

未来を拓く 確かな力

当選後、スピード感を持って取り組みます!

- 外国人労働者受入れ拡大対策
- 自由貿易拡大・消費増税対策
- 気象災害・気象変動適応対策

今、栃木県は責任世代が当事者の意識を持って取り組まなければならない、新たな課題に直面しています。いがらし清の海外留学を果した情熱や48歳で議長就任という豊富な政治経験は、問題解決に大きな力を発揮するはずです。

教育

- 少人数学級の拡充と国語教育の強化、基礎学力の向上
- 幼児教育の充実と「こころと創造性」を育む教育の推進

医療

- 医療/介護/福祉の連携強化と医療現場における人材の確保
- 高齢者や障がいを持つ方々を支援する地域拠点の整備

子育て

- 保育や学童クラブの拡充と子どもの居場所づくりの推進
- 親としての学びの場の充実と児童虐待の未然防止策の強化

生活

- 災害に強い県土づくりの推進と地域公共交通ネットワークの充実
- LGBT支援条例の策定、消費者行政と女性活躍の推進、DV被害者の支援

経済

- 「健康」「ロボット」など新産業の育成とニーズに即した産業団地の整備
- 事業承継や労働力不足への対応とAIやIoTなど最先端技術導入への支援

農業

- 「担い手」団員への多角的支援と農産物輸出や地産地消の拡大
- 高温の常態化への対応や高付加価値化に資する新品種・新技術の開発

環境

- 温暖化対策の推進とエネルギーの導入、森林整備と鳥獣害対策の強化
- 「環境産業」の育成と環境負荷の削減に向けた高度な循環型社会の構築

治安

- 子ども/女性を対象の犯罪の抑止、地域コミュニティの防犯力の強化
- 警察官の増員と装備品の充実、暴力団や麻薬・薬物の取締りの強化

プロフィール

- 生年月日 昭和44年12月14日生（49歳）
- 住 所 小山市大字出井1859-50（桑中学校西側）
- 家族構成 妻、長女、次女、母、妹（6人家族）
- 学 歴
●小一～小六、小山中、石橋高校を経て、ボンド大学経済学部経済学科を卒業
●Bond University, School of Business, Major in Business Economics
●早稲田大学大学院法務研究科で地方自治研究、環境政策研究（科目等履修生）
- 職 歴
●左衛門衆議院議員（元総務大臣）、茂木敏充衆議院議員（経済再生担当大臣）、岩崎純三参議院議員（元総務庁長官）の公設第一秘書などを10年間務める。
- 栃木県議会における役職
●栃木県議会議員に33歳で初当選（連続4期）
●文教警察委員会、生活保健福祉委員会、農土整備委員会、県政経委員会などを歴任
●平成27年45歳で副議長に就任
●平成30年49歳で副議長 第105代議長に就任（現期）
- その他の活動
●栃木県ハンドボール協会（会長）
●児童虐待防止団体「カンガルーおやま」
●県南地区農業交流会「大馬会」
●小山市フットサル協会（会長）
●DV被害者支援団体「ライフ」

(この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま複製版によって印刷したものです。なお、掲載順はくじにより決定しています。)